

連盟あまた

■発行所 秋田県看護連盟
TEL 018-867-7474
FAX 018-867-7477
■責任者 土田 妙

看護界の“働き方改革”に向けて

秋田県看護連盟 会長 土田 妙



西日本の豪雨被害の恐怖と悲しみが治まらないうち、毎日のように報道される災害報道。原稿を書いている今も秋田県に大雨警報・土砂災害警戒警報が発令されています。

昨年の7月22日・23日にも豪雨大災害がありました。あっという間の1年でした。秋田は幸いなことに人的被害はなかったのですが、それは、当時の秋田気象台長さんが、他県での災害経験から、市町村の首長さん達と携帯電話で連携をとり、早めの避難勧告を出してくれたお陰と知りました。

一番大事なのは“命”です。まさに、経験を活かしての「備えあれば憂いなし」です。「憂いあれども備えなし」では意味がありません。今の日本、秋田県は大丈夫でしょうか？

日々の生活での「思い」から「制度・しくみ」が生まれます。ただ、愚痴や文句を言ってるだけでは何も変わりません。「思い」が「要望」に育って、その「要望」を国や自治体に届けて、国会議員・県議会・市議会議員などの活動で「制度やしくみ」に反映されていくのだと思います。そして、日本が、県が、町が、看護の現場が元気になる！ そんな思いで、私達、看護連盟も活動を続けてまいりました。

看護職議員と共に、石田まさひろ議員も、参議院や自民党の多くの役職を担いながら、全国を訪問し、「現場の声」「思い」「要望」を聞き、法案・政策実現につなげる活動をしております。そして、7月8日「働き方改革法案」7月18日「受動喫煙防止法案」が成立しました。

医療福祉・看護・介護の現場のみでなく、働く現場が大きく変革しようとしている今、交代制勤務や基本給見直し、記録、残業問題等について、プロとして、自分達の「働き方」を現場で話し合い、改革の為に看護職議員の力が必要なら「現場の声・要望」を届けましょう。

秋田県看護連盟では、来年の次期参議院議員候補予定者の石田まさひろ議員を応援する為、6月2日「石田まさひろ決起集会」を開催し、多くの参加者の皆様からエールを頂きました。「石田まさひろを応援する会」のご入会も募っております。益々のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

夏の甲子園 金足農業高校 希望と感動をありがとう!!

日本看護連盟名誉会員表彰 おめでとうございます



菅 レイ子 顧問

目次

日本看護連盟会長挨拶	2
秋田県看護協会会長挨拶	2
国会議員挨拶	2、3
石田まさひろ決起集会	4
秋田県看護連盟通常総会	5
日本看護連盟通常総会	6
国政報告会	6、7
国会見学等研修	7
研修会報告	8~10
ブロックポリナビ	11
顧問名誉表彰	11
新旧役員紹介	12、13
青年部委員紹介	14
今後の研修会・行事予定	15
入会案内、編集後記	16

1年後に迫った参議院選!!

日本看護連盟 会長 草間 朋子



酷暑の毎日です。この猛暑にもめげず、昼夜を問わず患者さんに寄り添い懸命に活動しておられる看護職のみなさまに改めて敬意を表します。

7月に西日本を中心に発生した集中豪雨災害（「平成30年7月豪雨」）で甚大な損害を被られた岡山、広島、愛媛県のみなさまには、心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年の日本看護連盟総会において参議院選の組織内候補予定者として決定していただいた石田まさひろ参議院議員が、7月20日付けで自民党から「第25回参議院議員通常選挙 比例代表候補者」として第一次公認を得ることができました。舞台は整いました。

会員のみなさまには2期目を目指す石田議員を国政の場に送り出すことの意味をご理解いただき、石田議員が国政の場で思い切り活動できる環境を私たち会員の手で作作り、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの具現化に向けて、日本看護連盟、都道府県看護連盟、「石田まさひろを応援する会」が一丸となり、この1年を全力でがんばってまいりましょう。

変革期を乗り切るために

秋田県看護協会 会長 高島 幹子



秋田県看護連盟会員の皆様、日頃より秋田県看護協会活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

今年は、6年に一度の診療報酬・介護報酬同時改定があり医療・介護を取り巻く環境には、大きな変化の波が押し寄せています。私たち看護職は、「治す医療」から「生活を支える医療」へと移行する中で、看護の質を高め、看護の量を確保し、看護の役割拡大に向けて取り組むことが重要です。特に役割拡大では、特定行為研修を受けた看護職の層を厚くすることが必要ですが、これまで秋田県には特定行為研修を行う機関がありませんでした。しかし、今年2月、本荘第一病院が本県初の研修機関として認定され、さらに秋田赤十字病院が近く申請される予定です。

このような医療現場の変革期を乗り切るためにも、看護職の代表が国会の場で活躍できるように、私たちは一丸となって力を合わせて前進しましょう。

一億総活躍推進本部プロジェクトチームの座長を務めて!

自民党 副幹事長
衆議院議員 あべ 俊子



秋田県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。国会では、予算委員会、財務金融委員会に所属し、無駄を省きつつ、国として国民を守るために譲れない、本当に必要な部分には十分に予算を確保していけるようしっかりと取り組んでおります。

一方党内では、今年も一億総活躍推進本部のプロジェクトチームの座長を務めました。担当したテーマは「多様な働き方の推進」。少子高齢化と人口減少の進行する中、男女を問わずあらゆる世代が活躍できる社会に向けて、より柔軟な働き方に関する提言を行いました。

これからますます本格化する超高齢社会を支えるためには看護職の皆様の大きな力が必要です。皆様がやりがいをもって看護ができるお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。今後とも皆様からの温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

日々の成果は目に見えにくい小さな努力の積み重ね!

文教科学委員会 委員長
参議院議員 たかがい 恵美子



秋田県看護連盟の皆さまにはおかれましては、お健やかに過ごしのことと拝察いたします。酷暑の中、相次ぐ豪雨災害に心を痛めております。微力ですが、一刻も早い改良復旧をめざし、現場第一主義で対応を続けて参ります。幅広い年代の方が各地で看護の灯を必要としています。厳しい毎日ですが、互いに気持ちを強く持って、健やかに励んで参りましょう。

いのちの最前線に立つ看護職にとって、現下の働き方改革はこれからが本番です。労働形態の多様化と拡大する業務内容、要求される技術の高度化、それに伴う労働負荷の増大について、看護職は自ら現状を解きほぐし他者に伝える努力を強めなければなりません。これは容易ではありませんが、固有の専門分野であるが故に、一般社会で共通認識されるためにどうしても必要なことです。

看護連盟は目的を明確にし、こうした政治活動を共にしています。日々の成果は目に見えにくい小さな努力の積み重ね。ですが看護職全体に係る処遇改善と働き方改革を躍進させるために、これからも共にがんばりたいです。

働き方改革関連法案を通して!

厚生労働委員会 筆頭理事
参議院議員 石田 まさひろ



秋田県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。私事、この度、2019年夏に行われる第25回参議院選挙 候補予定者（全国比例区）として自由民主党から第一次公認を頂きました。皆さんが充実した看護をできるよう、現場の課題解決に向け鋭意力を尽くしていく所存です。

先の第196回通常国会において、私は厚生労働委員会の筆頭理事として汗を流す毎日でした。医師の地域偏在を是正する「医療法及び医師法の一部を改正する法律案」、「働き方改革関連法案」など看護職の皆さんに関わりの深い法改正がされました。特に、働き方改革関連法案は、安倍政権の最重要法案でありながら与野党で激しい対立が起こり、野党との交渉役を務める筆頭理事の私には緊張感の高い局面が幾度もありました。同時に、本会議の審議では、会派を代表して安倍総理に代表質問する大役も頂きました。

この法改正を通し、女性や高齢者活躍の推進、IoTやAIを用いた生産性向上が政策として動き出します。常に人手が足りない看護現場でも、潜在看護師やリタイア後の看護師の活躍促進、看護記録・書類の見直しと十分なケア時間の確保に示されるように生産性向上に向け果敢にチャレンジしていく時です。一緒にチャレンジしていきましょう。

児童虐待防止のために!

衆議院議員 木村 やよい



秋田県看護連盟の皆さま、こんにちは。7月22日、第196回通常国会が閉会しました。本国会では、2月23日の予算委員会第8分科会、5月2日、6月8日の厚生労働委員会、5月18日環境委員会にて質問の機会をいただきました。

5月2日は、働き方改革関連法案について。看護職の労働環境改善に向け、勤務間インターバルの適正な確保・深夜業の回数の上限の設定を求めました。また看護師確保等基本指針が1994年に策定されてから一度も改定されていないことを踏まえ、夜勤負担軽減に向けた数値目標の記載などの改定が必要だと訴えました。

6月8日は、児童虐待防止・地域包括ケアシステム・誰もがより健康で働ける社会の3つのテーマに関して。

虐待防止には、シングルマザーの自立就労支援、養育費の未払い対策が必要だと訴えました。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護と看護職のため、精一杯汗をかいてまいります。

石田まさひろ 決起集会

平成30年6月2日(土)
於：秋田キャッスルホテル
時間：10:00~11:30



石田まさひろ決起集会には、高島看護協会会長はじめ県選出国會議員、秋田県の看護を守る議員連盟の県議員の先生方、秋田県医師会会長、会員、賛助会員ほか関係団体の方々総勢243名の参加を頂きました。

高島協会長、自民党秋田県連会長石井浩郎参議院議員、衆議院議員御法川信英氏、富樫博之氏、秋田県看護連会長鈴木洋一県議員、小玉弘之秋田県医師会会長よりご来賓挨拶、また、欠席の佐竹敬久秋田県知事より必勝祈願のメッセージを頂戴しました。

続いて、秋田県選挙区候補予定者中泉松司参議院議員と全国比例区候補予定者石田まさひろ議員のスピーチがあり、満場の拍手・喝采を得ておりました。

最後に皆で秋田県出身シンガーソングライター高橋優さんの「明日はきっといい日になる」に合わせて応援ソングを披露し、V・V・Go!の掛け声とともに“赤い薔薇の花”を振り、一丸となって応援する決意を誓い合いました。



土田会長 開会挨拶



石田議員 ご挨拶「総会前の講演を想定していた。決起集会にしてくれて感謝。全国で初めての開催。感謝。」



田中青年部委員長の応援メッセージ。真っ赤な封筒に入れて手渡しました。



土田会長名物 議員カラーで応援エールの音頭



来賓の議員の先生方も 菅顧問も準備万端



♪ 明日はきっといい日になる ♪



Victory (勝利) を目指してGo!
V・V・Go!



会場出口で握手でお見送り。手前は秋田県選挙区候補予定者のなかいずみ松司氏



秋田県看護連盟新旧役員・支部長・青年部委員と

平成30年度 秋田県看護連盟通常総会



開催日時：平成30年6月2日(土) 13時00分~15時00分

会場：秋田キャッスルホテル 4階 放光の間

会員数：2,642名 (H30.6.2現在)

出席会員：188名、委任状：2,223名、執行部：27名 計：2,438名にて

総会は成立し、報告事項はすべて承認され、審議事項はすべて可決されました。



経過報告

- 1.平成29年度 秋田県看護連盟通常総会報告
2. // 日本看護連盟主催 会議報告
3. // 秋田県看護連盟主催 会議報告
4. // // 活動報告
5. // // 支部活動報告
6. // // 決算報告
7. // // 監査報告

審議事項

- 第1号議案 平成30年度 秋田県看護連盟スローガン(案)
- 第2号議案 // // 活動計画(案)
- 第3号議案 // // 予算(案)
- 第4号議案 第25回参議院選挙対策(案)
- 第5号議案 秋田県看護連盟規約並びに細則改正(案)
- 第6号議案 平成30年度 秋田県看護連盟役員改正(案)

来賓 ◇秋田県看護協会

会長 高島 幹子 様

◇国會議員

衆議院議員 金田 勝年 様

◇秋田県議會議員

秋田看護連会長 鈴木 洋一 様

秋田看護連 北林 康司 様

// 佐藤 賢一郎 様

◇秋田県議會議員

秋田看護連 加藤 鉦一 様

// 近藤 健一郎 様

// 工藤 嘉範 様

// 竹下 博英 様

// 高橋 武浩 様

◇男鹿市議會議員

賛助会員 古仲 清尚 様



金田議員来賓ごあいさつ

平成30年度秋田県看護連盟通常総会に出席させていただきました。午前中に行われた「石田まさひろ決起集会」の余韻が残る中、国會議員、県議會議員、市議會議員の来賓の方々のご臨席を賜り、厳粛ながらも盛大な会に、改めてこれまでの秋田県看護連盟の足跡を感じ、会長はじめ、各役員の方々のご努力とご尽力の賜物と、感銘を覚えました。

諸先輩方の方々の意志を引き継ぎ、繋ぐ役割があることを再認識した会でもありました。

「ベッドサイドから政治を変える！」～一人ひとりが成熟・自律した活動をする～のスローガンを今一度自ら自覚し、力強い組織の創生へ向け活動していかなければならないと、決意を新たにしました次第です。

(秋田・臨海第1支部長 三浦 真由美)



審議事項はすべて原案通り可決されました



議長：秋田厚生 国安みゆきさん
市立横手 石橋由紀子さん
ありがとうございました

平成30年度 日本看護連盟通常総会



開催日時；平成30年6月5日（火）12時30分～15時00分
会場；ザ・プリンスパークタワー東京 地下2階 ボールルーム
出席者；代議員920名、一般会員；847名、役員；16名 計；1,783名

- <報告事項>
- 1.平成29年度 通常総会報告
 2. // 都道府県会長会等報告
 - 3.「平成29年度日本看護連盟活動計画」の実施報告
 4. // 決算報告
 5. // 監査報告

- <審議事項>
- 第一号議案 名誉会員の推薦
 - 第二号議案 日本看護連盟規約等改正（案）
 - 第三号議案 平成30年度 スローガン（案）
 - 第四号議案 // 事業計画（案）
 - 第五号議案 // 予算（案）
 - 第六号議案 // 選挙対策（案）
 - 第七号議案 役員選出（案）

特に第二号議案では、退会届、賛助会員会費、中央役員任期、代議員数について質疑が行われ、結果審議事項はすべて可決、承認された。

初めて代議員として参加した。全国の連盟会員の圧倒的なパワーを直接肌で感じ、看護連盟という組織の力の大きさを実感した。草間会長の「看護師はチーム医療のキーパーソン。看護師自身がそのことをしっかりと認識し、『力強い組織』に向け ①自立する②行動する事が重要。」という言葉が印象的であった。このことは、自由民主党副総裁が述べていた、これからの日本が抱える最大の国難とも言われる少子高齢化問題に向けて、住み慣れた地域で安心できる医療を受けるために、我々看護職の役割が大変大きいということに繋がると理解した。しかし、国難と言われる社会問題に対して、キーパーソンと言われる看護職の就労環境は十分に整っているのだろうか。現場を知る私たちにとっては、整備することが多くあり、改善すべき重要な課題であると考えます。「我々の現場環境問題を解決する！」これが看護連盟の使命であると実感すると共に、我々の代表を良い結果と共に国境に送り出す事がいかに意義のあることか痛感した。（JCHO秋田病院 伊藤志保）



決起大会終了後、衆議院議員あべ俊子氏、木村やよい氏の国政報告会が開催され、会長・顧問・副会長・幹事長・鈴木支部幹事が参加した。現在4名の看護職員が看護に関わる政策実現に向け、また、多方面で活躍・奮闘している報告を聞くことができた。



あべ議員



木村議員



ベッドサイドから政

現場の声を届けるために各地に足を運んで活発な意見交換をし、働き方改革を推進するため、職場環境、就学環境の改善等で看護職が専門職として十分能力を発揮でき、社会に信頼されることを目指してご尽力されている事を具体的に話され理解が深まりました。

看護職員の躍動感みなぎる思いが伝わり、私たちも看護の未来のために努力していかなければならないと決意を新たにしました。（北秋田・上小阿仁支部長 山田悦子）



高階先生は多忙中、夕方行われた秋田県看護連盟懇親会に顔を出して下さいました。参加者一同大感激。連盟活動の決意が高まりました。

日本看護連盟 第25回参議院議員選挙 決起大会

平成30年6月5日（火）
15：20～16：00

この日は参議院厚生労働委員会の審議があり、石田まさひろ組織代表候補予定者は出席できませんでしたが、ビデオメッセージで「全国を回って現場の声を聞き、改めて皆様の思いを実現させよう、看護の力で日本を元気にしようという思いが募っている」と力強く語り、支援を訴えました。

会場は本人不在でしたが、石田議員の『影武者』が登場し、大阪府看護連盟の応援歌と踊り、日本看護協会幹部の応援歌合唱、青年部のパフォーマンスに大いに盛り上がりました。



日本看護連盟青年部の熱き赤い応援セレモニー
“この熱気とやる気が看護の未来を担う力なんだなあ”



草間連盟会長 福井トシ子協会長 影武者 清水連盟顧問 あべ俊子議員

『石田まさひろを応援する会』
会長清水嘉と子連盟顧問の音頭でガンバローコールを三唱♡♡♡
“一丸となって真っ赤になって応援していこう!!”

国会見学研修

毎年、日本看護連盟総会参加者は、私たちの代表がどのような場で活躍しているのかをこの目で実感するために、国会議事堂見学・議員会館訪問を行っています。

今年は青森県看護連盟のご厚意により、衆議院議長公邸（大島理森議長は青森県選挙区）の見学に同行させていただきました。各国の要人を招く迎賓館の役割もするという事で、絨毯、シャンデリア、壁紙や置物、絵画、庭園など日本の誇れるものが結集している所でした。

参議院議員会館では、たかがい恵美子事務所（お隣は秋田県選挙区の石井ひろお事務所です）と、石田まさひろ事務所を訪ね、ちゃっかり記念撮影して来ました。

国会は参議院本会議中で、厳しいセキュリティチェックを受けての入館でした。今まで参議院も衆議院も見学してきましたが、本会議の傍聴は初めてでした。（記 工藤）



1101号
石田まさひろ事務所にて



私が『影武者』です。
石田まさひろメルマガの☆★==陽当たり良好通信==でお馴染みの政策秘書 五反分さんですヨ



714号
たかがい恵美子事務所にて

平成30年度 秋田県看護連盟 県役員・支部長・青年部委員 研修会



開催日；平成30年6月26日（火） 13時30分～15時30分
会場；にぎわい交流館AU 4階 研修室
対象；県役員・支部長・青年部委員
参加数；31名



- 講演；①「看護連盟の理解を深め楽しく活動するために！」
講師 秋田県看護連盟 会長 土田 妙
- ②「秋田県看護連盟役員役割を正しく理解し、行動することで組織強化を図ろう！」
講師 同 幹事長 松村 良子
- ③「秋田県看護連盟の戦略！確実に得票数に結びつける為に！！」
講師 日本看護連盟 常任幹事 長沢 恵美子氏



土田会長

敗戦後全国民が貧困に喘ぎながらも必死に頑張っている1948年「看護の質向上や療養環境・職場環境の改善」を目指し看護協会が設立された。その後多くの課題に直面する中で制度づくりに携わる看護職の存在が不可欠であることから看護連盟が設立された。その経緯と活動・評価・看護職員員の成果等についてユーモアあふれる話術で力説された。



松村幹事長

秋田県看護連盟活動マニュアルに基づき、県役員・支部長・支部役員・青年部委員の役割等について説明後、政治活動と選挙運動の違いについても詳しく説明し、秋田県看護連盟の活動の方向性と取り組みを具体的に示された。



長沢日本看護連盟常任幹事



看護の力で日本を元気にするためには「看護の発展と国民の健康と福祉の向上のために寄与する」看護連盟の活動を会員に最も近い立場で牽引できるのは支部役員・施設及び部署の連絡員である。そのために自分の考えをしっかりと持ち、熱意をもって伝えることが重要である。すなわち熱伝導はカチカチのアイスを溶かし食べやすくなること。更に熱意を伝えるキーワードとして、しっかりした看護実践（信頼）・仲間と思いを分かち合う（共感）・ちょっとしたサプライズ（驚き）・楽しく活動！を述べられた。25回参議院選挙の得票目標数 30万票に向かって会員一丸となって頑張っていこうと力強く呼びかけられた。

参加者から大都市の病院に勤務している看護師が連盟の存在を知らず、職場の課題を抱えたまま鬱々と働いている実態の紹介があり、会員の掘り出しに力を注ぐ必要性を感じた時間ともなりました。

（記 齋藤）

平成30年度 第1回 秋田県看護連盟会員研修



開催日；平成30年7月29日（日） 10時00分～11時30分
会場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間
対象；会員・非会員
参加数；148名（賛助・一般3名、会員106名、非会員1名、役員22名）
講演；テーマ 『生活や看護を政治につなげ、日本を元気にするために！』
講師 参議院議員 石田 まさひろ氏



6/29に成立した働き方改革法案の経緯から、看護職は「働き方改革」というより、「看護のあり方」を真剣に考えないといけない時期にあるというのが石田氏の第一声だった。
そして、講演を聴講している誰もが耳を疑った言葉が「交代制勤務をやめてみないか！」という提言であった。交代制勤務（24時間勤務が当たり前）自体が看護師の働き方の妨げになっている。他の職業にはなく身体にも大きな影響を与えている。世界的にも珍しく異常なことである。また、看護師の残業の実態も次のように話された。実は、残業をしていない職種の3番目が看護師である。これには、働く環境が大学病院・クリニック・診療所等様々であること。また交代制勤務のため申し送りがあることで正しいデータではなく残業が少ない職種になってしまっていること。しかし、大変なのは事実である。が、何が大変なのか！

「早食い・速足」等、看護の密度に違いがある。政策もエビデンス時代で、国民・患者が決める根拠となる顧客データが必要だ。今後は「日勤・夜勤を分けて考えることは出来ないか！」と提言された。

また、「チームナース」の意味についても語られた。「チーム」とは、それぞれのプロがチームを組んで成立するのが本来の意味。夜勤のプロ・日勤のプロ・各技術のプロと、それぞれ役割の違うナースが集結しプロの発想で、視野を広げた働き方・患者を中心としたらどう働いたらいいのかを考えるべきである。働き方具体例として、16時半からの夜勤前出勤も残業である。16時勤務とし30分は情報収集時間、不要ならケアに入る。21時の消灯と転倒の関係についても、21時の消灯により睡眠誘導している。眠れないがため眠剤服用の影響で3時頃半覚醒し歩行する事で転倒や不穏が多発する。これらの現状から視点を変え、患者の退院後の生活に合わせた消灯時間の延長や廃止することで、転倒件数の減少した例などの報告があった。「看護職は重い仕事である。人の人生を変える仕事」である。給料・プロフェッショナル・夜勤これらが交代制勤務により縛られている。今こそが「看護のあり方」を考えていく必要がある。と、熱く語られた。

（記 草薙）



土田会長 開会挨拶



石田議員の講演

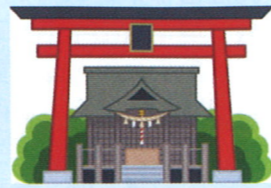


質疑応答 高島会長「どれだけウロコがついていたのかしら！目からいっぱい落ちました。」

平成30年度 第1回 支部長・施設幹事・リーダーセミナー



開催日；平成30年7月29日（日） 12時30分～14時30分
 会場；秋田キャッスルホテル 4F 放光の間
 対象；県役員・支部長（幹事・施設連絡員）・リーダー（部署連絡員）・
 会員〔オブザーバーとして正・特別会員であればどなたでも可〕
 参加数；102名（会員83名、県役員8名、支部長11名）
 グループワーク；テーマ 『現場の声をどう制度・政策につなげるか』



…あなたのグループの要望書を提出してください…

講評 参議院議員 石田 まさひろ 氏

午後からは、13グループに分かれグループワークを行った。
 テーマに沿ってそれぞれのグループは現場の現状を熱くディスカッションしていた。
 グループの話し合い結果を、『要望書』として作成し、代表して6グループから発表があった。

主な内容は、次の2点であった。

1. 看護ケアの充実実現
 - ・ベッドサイドに行けない
 - ・事務作業問題
 - ・人員配置の問題
2. 子育て支援対策
 - ・待機児童
 - ・保育不足
 - ・夜勤要員不足



『要望書』のあて先も石田議員ほか、日看連会長草間朋子様、農林水産大臣齋藤健様、秋田県知事宛等さすがにリーダーたちの交渉力を感じた。

グループの発表を終え講評で石田議員は、これらの発表をひとつひとつ現場の声として真摯に受け止め、給与体制、病棟配置要員、記録体制など、全力で頑張り取り組んでいくと力強く話された。（記 草粥）



オリエンテーション



石田議員各グループに入り



Men'sグループにも石田氏



説得力のある発表でした



講評する石田議員



発表内容を赤い手帳に書き留めて

第5回 北海道・東北ブロックポリナビワークショップ in 青森



日時；平成30年7月14日（土） 14：00～17：00 会場；青森国際ホテル
 当県参加者；6名（青年部委員5名、土田会長）

【講演】 テーマ；青森市の「やさしい街づくり」

講師；青森市長 小野寺 晃彦 氏

【グループワーク】 テーマ；「短命県返上を考える」

【講評】 参議院議員 石田 まさひろ 氏



＜報告＞

小野寺青森市長の講演は、(1)地域医療の再生として、公立病院の病床数の削減と診療科の見直し、「在宅療養支援病院」の説明があり、より良い看護ケアが継続して行われるよう取り組んでいくことの大切さを改めて感じた。(2)障がい者・高齢者に優しい街づくりでは、急病センターの移転や市営バスの「バス待ち空間向上事業」のお話であった。最後に(3)地域包括ケア推進について、健康寿命の延伸や介護予防、地域支え合い推進への取り組みが紹介された。地域支え合いではボランティアポイント制度があり、高校生や大学生など若い方も多く参加しており、幅広い年齢層のコミュニケーションの場として、また地域のつながりをつくるという意味でもとても有効だと思った。市長の力強いプレゼンテーションから、「変化させようと思ったら強く願うこと、積極的に働きかけていくこと」の重要性を学んだ。

グループワークでは「短命県返上を考える」をテーマに①検診率・受診率の低迷②医療従事者の不足③飲酒・塩分・煙草の摂りすぎの3つの問題について話し合った。一般の方は、飲酒・塩分過多・喫煙のリスクは分かっているが病気に直結しない、検査数値や結果の詳しい知識がなく受診の時間が取れないと放置しているなどの課題を共有し、各施設の取り組みについて情報交換した。『検診を受けたらポイントがもらえる』『検診後の受診では医療費の自己負担分を安くする』『市民公開講座に著名人を呼び聴衆を集め健康教育をする』などユニークな対応策も出され、とても有意義なワークとなった。

石田議員の講評では、北東北の塩分摂取の歴史や、政策上の欠点や課題をユーモアを交えながら話され、参加者全員が興味を惹かれ、共感した。



菅 レイ子顧問 日本看護連盟名誉会員表彰



皆様からのご協力・ご支援あつてのことと感謝いたします。

昭和42年看護連盟入会。昭和62年から日本看護連盟秋田県支部県南分区長として、また平成元年からは県南地区長や支部長(H17年より秋田県看護連盟会長)を担いながら、雄勝中央病院看護総婦長として、施設連盟加入率100%を維持し県内の活動拠点として模範となっております。在職中は看護職の育成に努めると共に、常に看護と政治の関わりについて「看護環境を守り、高めるために」看護職を国政に送ることの大切さを熱く伝え、第15回清水嘉与子選挙では、獲得比率1位となり秋田県看護連盟の評価を高めました。

平成22年会長退任後は、顧問として新会長及び県役員、支部長活動の助言、指導、後進の育成、票の獲得など事業の発展に尽力し実績を上げておられます。これらの功績に対し、日本看護連盟より名誉会員証が贈られました。



名誉会員バッジ

退任役員・支部長あいさつ



幹事 秋田・臨海第5支部(個人会員) **宇佐美 正子**

秋田県看護連盟支部や青年部委員会の熱心な活動が、団結力や情熱を醸し出し、成果につながっていると感じました。

看護・介護の現場の声を届けることで、政治力に反映され、職場環境の変化に繋がる連鎖である事から、看護職の代表を国会に送るための連盟会員の活動は、意味深いと思います。

看護連盟会員を先導する役員の皆様の熱い心意気と、益々のご活躍を祈念申し上げます。



監事 鹿角・大館支部(個人会員) **田村 良子**

役員在任中は一期三年間という短い期間でしたが、監事を担当させていただきました。その中で役員会や各研修会参加により、各方面いろいろな方々と交流でき、又別の角度から看護職の環境を再確認する機会を得ることができました。平成29年度リーダーセミナーⅡでこんな名ゼリフがありました。「あなたの一票で動きやすい職場環境に変えていこう」「小さな声を大きな思いに託して看護の代表を国会に送ろう」平成30年度決起集会で皆様と一緒に歌い上げた一節のように、「明日はきっといい日になる、いい日になるのさ」を目指して、これからも地域の皆様と一緒に協力させて頂きたいと思います。



北秋田・上小阿仁支部長(北秋田市民病院) **九嶋 千賀子**

看護連盟の躍動感あふれる活動を肌で感じ、「ベットサイドから政治を変える」の思いを発信してまいりました。又、たかがい恵美子議員の選挙の時は、1票の重みと大切さを痛感した選挙でした。力不足ではありましたが皆様の協力のもと貴重な経験をさせて頂き感謝申し上げます。今後は看護連盟の更なる発展を願い、微力ではありますが協力していきたいと思って居ります。



能代・山本第1支部長(能代厚生医療センター) **今井 美津子**

前支部長よりご指名を受け、2年間支部長を務めさせていただきました。丁度、たかがい恵美子参議院議員2期目選挙の時で、初めて支部長としての役割にも戸惑いながら、とにかく何としても当選してほしいという思いで、がむしゃらに聞きながら活動しました。

政治にはあまり関心がなかった自分にとっては、考えられないことでしたが、立ち位置が変わると考え方も変わるということを知った2年間でした。会長はじめ役員、支部長、事務局には大変お世話になりました。今後も連盟会員の一人として、活動には協力していき看護界の発展の力になりたいと思います。看護連盟に育てていただきありがとうございました。



由利本荘・にかほ支部長(由利組合総合病院) **佐々木 喜久子**

看護連盟の活動は看護師として働き続けられるための労働環境の改善、そしてそれが看護の質向上につながっていく役割があり、改めて連盟の重要性を知る機会となりました。

会長をはじめ役員の皆様に助けられ、全県の支部長と知り合い楽しく活動ができたことに感謝しています。

新任役員・支部長あいさつ



幹事 鹿角・大館支部(個人会員) **工藤 敬子**

この度、県役員幹事を務めさせていただくことになりました。

看護連盟の重要な役割に責任の重さを感じておりますが、ベットサイドの問題を政策に反映させるための活動や、代表議員を政策決定の場へ送るための活動を会員の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



監事 秋田・臨海第5支部(個人会員) **伊藤 美幸**

今年度より秋田・臨海第1支部長から監事として連盟の役員を継続することになりました。

会務の執行状況や会員の皆様よりお預かりした会費の適切な運用についてチェックしてまいります。連盟活動をとおして感じることは一人一人の一票の重さです。投票行動により看護職の代表を国政の場に送ることにより「現場の声」が法制化され改善していく醍醐味です。平成31年度の選挙に向けた活動において、一人でも多くの方に看護職議員の活躍を広め支持して頂けるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



北秋田・上小阿仁支部長(北秋田市民病院) **山田 悦子**

この度、北秋田・上小阿仁支部長を務めさせて頂くことになりました。

支部長という役割、責務の大きさに正直戸惑いを感じております。私自身これから学ぶことが沢山ありますが、当支部会員へも看護連盟の役割と必要性を理解して頂けるよう研修会参加を促し、看護の現場をより良くする為に政治力がいかに重要かを伝え、一人でも多くの会員を増やしていきたいと思っております。会長はじめ役員の皆様の指導を頂きながら頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



能代・山本第1支部長(能代厚生医療センター) **野村 優子**

この度、能代・山本第1支部の支部長を務めさせて頂くことになりました。看護連盟の会員として長きに名前を置いてまいりましたが、6月から役員会・支部長会・研修会に参加させて頂き、連盟の存在と重要さを肌でヒシヒシと感じております。看護連盟の「ベットサイドから政治を変える」をスローガンに掲げているように、現場の声が看護政策に繋げるためにも、私達の代表を国政に送り続けることが必要です。諸先輩のご指導と会員の皆様からの協力をいただきながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



秋田・臨海第1支部長(個人会員) **三浦 真由美**

平成30年度秋田県看護連盟通常総会において、秋田・臨海第1支部長を拝命いたしました。3月で現職を終え、第2の人生を歩み始めた私にとって何ができるのか、葛藤している毎日です。まずは、看護連盟の役割を正しく理解し活動できるよう研鑽し、現場で頑張っている皆様が「自律してイキイキと働き続けられる環境の整備」のために、微力ながら任務を果たしてまいります。皆様のご指導、ご協力宜しくお願い致します。



由利本荘・にかほ支部長(由利組合総合病院) **佐々木 あけみ**

今年度から由利本荘・にかほ支部長を拝命致しました。普段は病棟師長として勤務しており、一人ひとりの看護師の働きをすぐ近くで見せております。現場の生の声をお届けする橋渡しができればと思います。全ての看護師がこれからも生き生きと働き続けられるよう、又、夢と希望を持って看護師を目指す若者が増えるよう、微力ではありますが頑張りたいと思っておりますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

平成30年度 秋田県看護連盟 青年部委員紹介

H30.7月末会員数
()は賛助会員数



能代・山本第1支部

施設数：2
会員数：258名(7名)



能代厚生医療センター
田中富三男
青年部委員長

能代・山本第2支部

施設数：JCHO 秋田病院
会員数：104名



JCHO 秋田病院 佐藤 孝哉

鹿角・大館支部

施設数：5
会員数：147名(9名)



かづの厚生病院 似鳥 慎子

北秋田・上小阿仁支部

施設数：北秋田市民病院
会員数：79名



北秋田市民病院 千葉 紘子

大仙・仙北支部

施設数：4
会員数：353名(8名)



大曲厚生医療センター 松下 大輔

横手第1支部

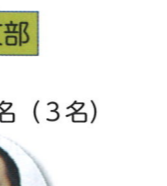
施設数：平鹿総合病院
会員数：401名



平鹿総合病院 内田加奈子
青年部副委員長

横手第2支部

施設数：4
会員数：37名(13名)



湯沢・雄勝支部

施設数：2
会員数：219名(3名)



雄勝中央病院 麻生 直希

由利本荘・にかほ支部

施設数：6
会員数：254名(2名)



由利組合総合病院 須藤 祐介

秋田・臨海第1支部

施設数：7
会員数：365名



神馬 千穂
秋田大学医学部附属病院



石川 紗月
秋田大学医学部附属病院

秋田・臨海第2支部

施設数：秋田厚生医療センター
会員数：302名



秋田厚生医療センター 中田 悠平

秋田・臨海第3支部

施設数：秋田赤十字病院
会員数：71名



秋田赤十字病院 松濑 翔
青年部副委員長

秋田・臨海第4支部

施設数：湖東厚生病院
会員数：50名



湖東厚生病院 石井 尚樹

秋田・臨海第5支部

施設数：5
会員数：85名(22名)



由利組合総合病院 須藤 祐介

《今後の研修会・行事予定》

◎平成30年9月1日(土) 13:00~15:00 看護管理者研修会

会場：秋田キャッスルホテル
対象：看護管理者・役付看護職・看護教員・連盟支部役員・連絡員(会員・非会員)
講演：テーマ「看護政策と臨床
～とことん知ろう 連盟活動!～」
講師 フリージアナースの会 会長
NPO 法人看護職キャリアサポート 顧問 大島 敏子氏



◎平成30年9月10日(月) 13:30~15:30 都道府県別会議

会場：秋田ビューホテル
出席者：日本看護連盟幹事長 榮木 実枝氏
秋田県看護連盟 県役員 11名、支部長 14名、青年部委員長、事務局

◎平成30年9月22日(土)~23日(日) 北海道・東北ブロック看護管理者看護教育者政策セミナー

会場：岩手県 ホテルメトロポリタン盛岡
参加者：秋田県看護協会 1名、看護管理者 2名、看護教育者 1名、秋田県看護連盟 2名

◎平成30年10月14日(日) 10:00~12:00 第2回会員研修会

会場：秋田キャッスルホテル
対象：会員・非会員
講演：テーマ「第1回秋田県リーダーセミナーで作成した要望書を具現化するために!」
講師：参議院議員 石田 まさひろ氏



◎平成30年10月14日(日) 13:00~15:00 ポリナビワークショップin秋田

会場：秋田キャッスルホテル
対象：若手会員・学生会員・非会員
グループワーク：テーマ「選挙で変わる未来～私たちの働き方改革～」
講評 参議院議員 石田 まさひろ氏



◎平成30年12月2日(日) 10:00~12:00 第3回会員研修会

会場：秋田ビューホテル
対象：会員・非会員
講演：テーマ「医療現場と政治・政策の関わり(仮)」
講師：東北大学大学院情報科学研究科 准教授 河村 和徳氏



◎平成30年12月2日(日) 13:00~15:00 第2回リーダーセミナー

会場：秋田ビューホテル
対象：支部長・支部役員・施設連絡員・リーダー
グループワーク：テーマ「現場の力を引き出すリーダーシップ(仮)」
講評 秋田県看護連盟 政策委員会



◎平成30年12月 未定 10:00~12:00 看護協会・連盟役員合同会議

会場：秋田県看護協会会議室(予定)
出席者：秋田県看護協会会長・副会長・常務理事、秋田県看護連盟会長・副会長・幹事長・顧問

◎平成30年12月 未定 13:00~15:00 看護教育者懇談会

会場：秋田県看護協会会議室(予定)
出席者：秋田県看護協会会長・副会長・常務理事、県内看護教育機関教育者、秋田県看護連盟会長・副会長・幹事長・顧問

あなたの入会が活動を支えます

平成29年度会員数(平成30年7月現在)

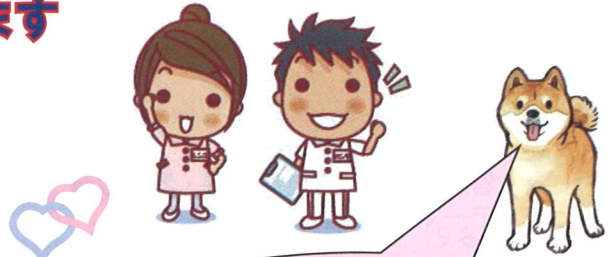
正会員：2,725名
(うち名誉会員3名、特別会員11名)

賛助会員：64名

学生会員：0名

看護協会会員：6,772名

加入率：40.2%



今年度目標会員数は
正・特別会員2,800名、
賛助会員100名です。
宜しくお願いします。

入会案内

平成30年度 会員募集中！

“現場の声を国政に届けましょう”

年会費	8,000円	正会員：会費 8,000円	特別会員：会費 8,000円
日本看護連盟会費	5,000円	賛助会員：会費 1口1,000円(何口でも可)	
秋田県看護連盟会費	3,000円	学生会員：会費 無料	

入会申込は各支部または秋田県看護連盟事務局
TEL 018-867-7474 までお願いします。

睡眠セミナー 無料サービスのご案内

東洋羽毛

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

＊セミナーは研修内容及び研修時間についてご相談の上、実施させていただきます。
＊セミナーはご希望により何回でも承ることが可能です。

《テーマ例》

- ★睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★よく眠れる、眠りのお話！？
- ★眠る門には福来る！
- ★早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。



東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

お気軽にお問い合わせください

0120-639601

編集後記

高校野球金足農準優勝おめでとうございます。連日の猛暑の中。チームワークと闘志を前面に出し強豪校を撃破し勝ち進んできた姿に感動と勇気をもらいました。その興奮が冷めやらぬ中、連盟あきた88号を発行できご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

平成30年度通常総会、第25回参議院選挙の組織代表に決定した石田まさひろ氏の決起集会を、全国に先駆け盛大に行うことができました。8月まで終了した研修内容もぜひご覧いただき、各職場が抱えている課題解決の参考にしていただければ幸いです。

来年の参議院選挙で「石田まさひろ氏を再度国政に！」金農魂にあやかり会員が一丸となって各自の役割を自覚し共に頑張りましょう。
(記：齋藤京子)